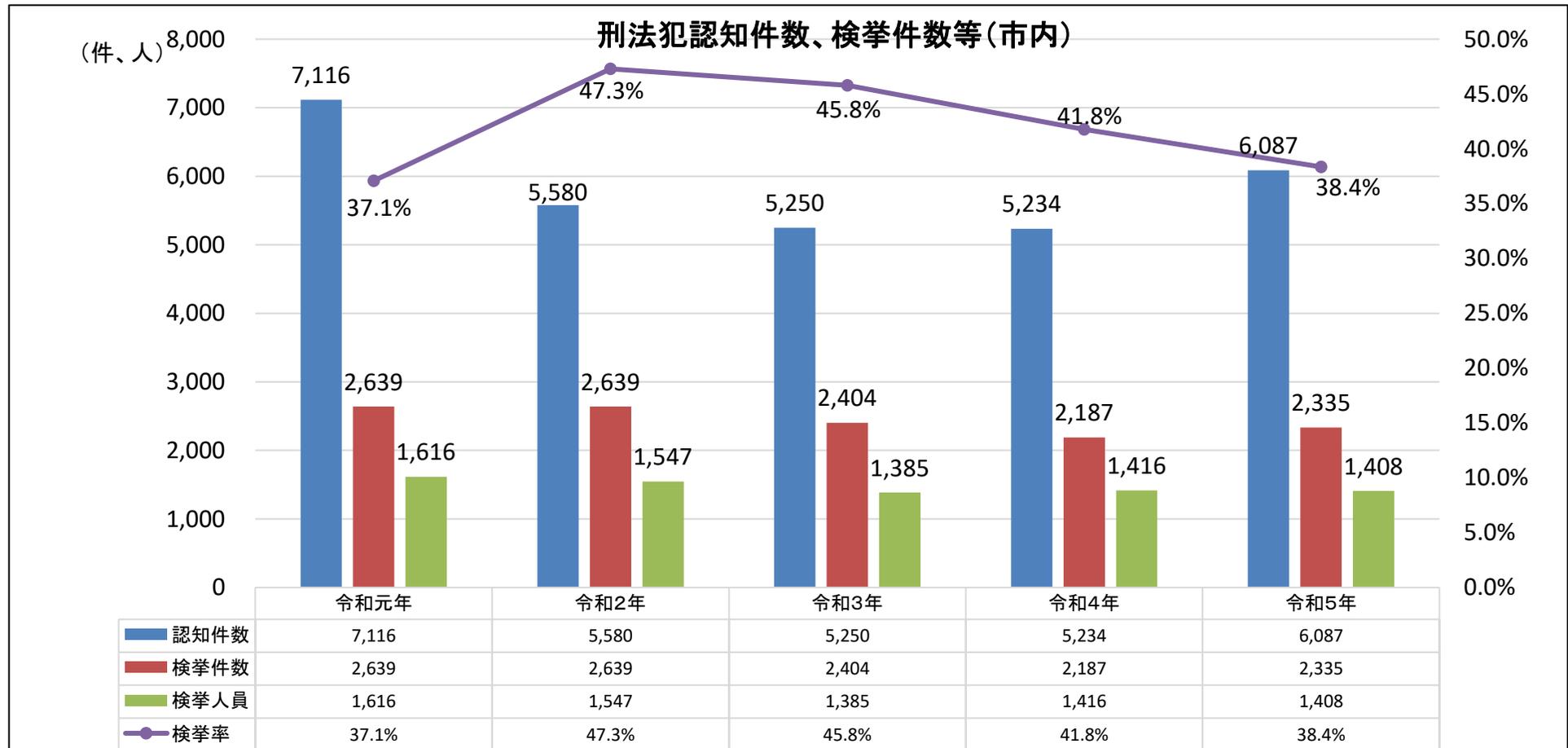


仙台市内の犯罪に関する最新情勢について

- 1. 刑法犯認知件数、検挙件数等の推移 P 1
- 2. 市内の特殊詐欺被害・子どもの声掛け事案に関する状況の推移 P 2～4

1. 刑法犯認知件数、検挙件数等の推移

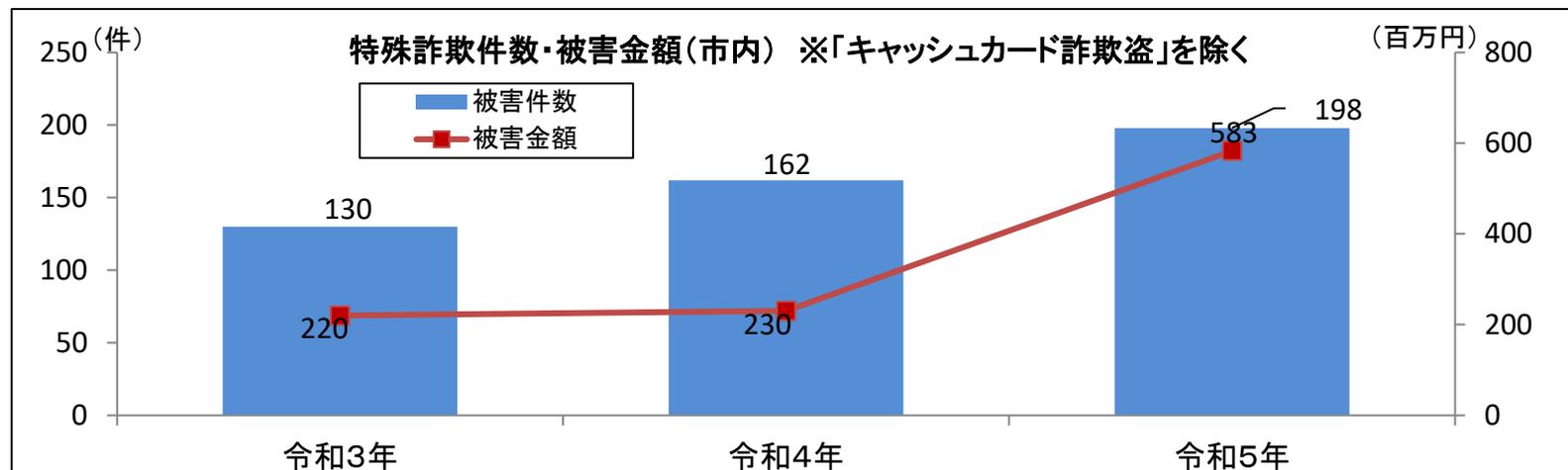
本市の刑法犯認知件数は、平成13年をピークに21年連続で減少していましたが、令和5年は6,087件で前年から853件増加しました。



2. 市内の特殊詐欺被害・子どもの声掛け事案に関する状況の推移

(1) 特殊詐欺に関する被害状況

直近3年間の特殊詐欺の被害件数・被害金額は次のグラフのとおりです。令和5年は被害件数、被害金額ともに前年から増加し、被害件数198件・被害金額は約5億8,300万円となりました。



●「キャッシュカード詐欺盗」について

令和元年6月より、新たな区分として「特殊詐欺と同視し得る窃盗」が追加され、令和2年1月より、名称が「キャッシュカード詐欺盗」に変更されました。令和5年は、21件が認知され、被害額は約2,962万円に上りました。

キャッシュカード詐欺盗		
	令和4年	令和5年
認知件数	33	21
被害金額 (単位:円)	63,663,000	29,615,000

●特殊詐欺の手口

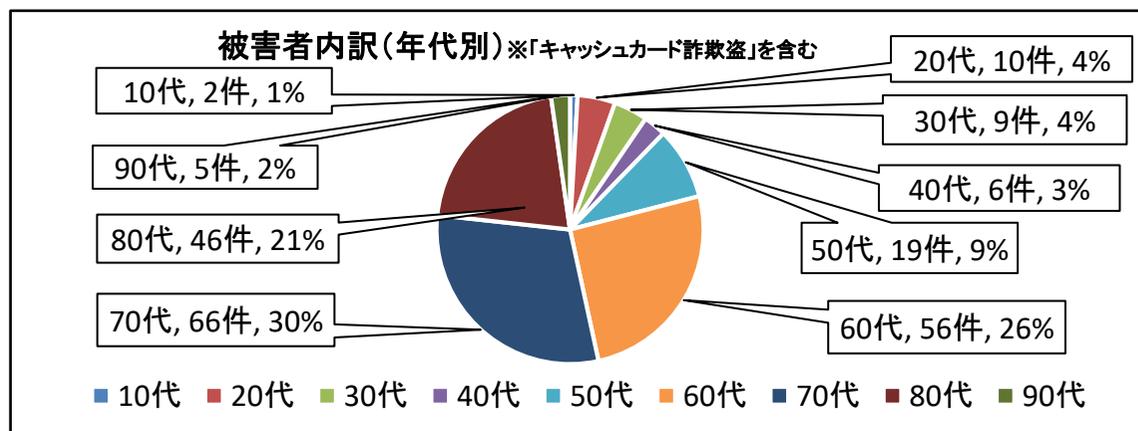
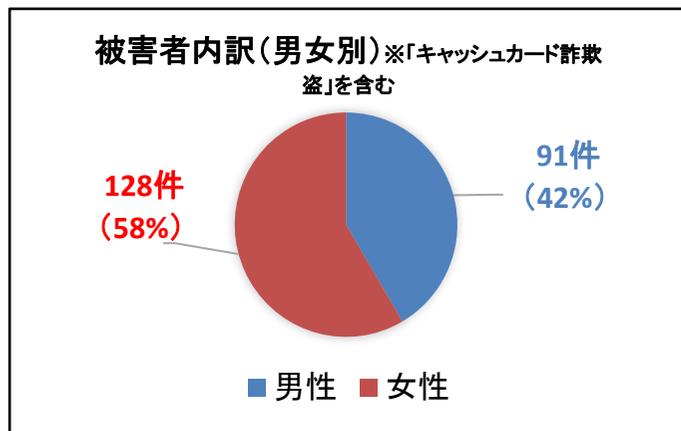
令和5年の認知件数(総数219件)の内訳としては、オレオレ詐欺と預貯金詐欺の件数が減少したものの、架空料金請求詐欺と金融商品詐欺の件数が大幅に増加しました。また、令和4年からの推移として、件数が約1.1倍に対し、被害金額は約2.1倍であり、1件あたりの被害金額が大きく増加したことが分かります。

特殊詐欺手口別件数・被害金額(令和4年・令和5年)

手口名	件数		被害金額(単位:円)	
	令和4年	令和5年	令和4年	令和5年
オレオレ詐欺	32	27	94,301,000	112,862,014
預貯金詐欺	30	20	58,537,000	53,247,000
架空料金請求詐欺	64	94	35,349,530	106,351,385
還付金詐欺	33	25	35,053,075	23,422,606
融資保証金詐欺	3	4	7,195,859	3,716,280
金融商品詐欺	0	23	0	277,482,649
ギャンブル詐欺	0	0	0	0
交際あっせん詐欺	0	1	0	40,000
その他	0	4	0	6,090,981
キャッシュカード詐欺盗	33	21	63,663,000	29,615,000
合計	195	219	294,099,464	612,827,915

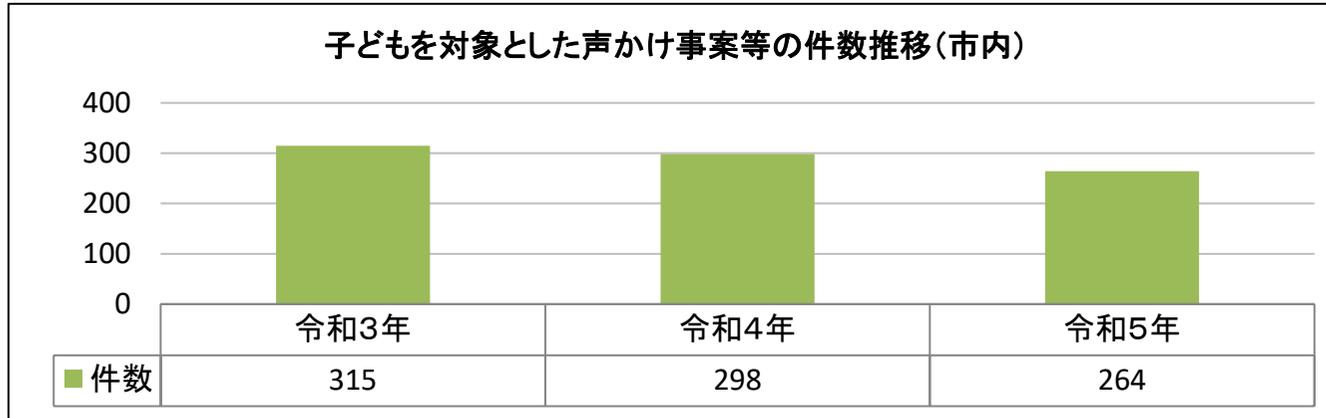
●被害者の内訳(令和5年)

令和5年における被害者の内訳を見ると、女性が約6割を占めるとともに、年代別では特に60代以上の高齢者の割合が70%を超えています。



(2) 仙台市内の子ども(13歳未満)を対象とした声かけ事案等の発生状況

令和5年は前年と比較すると大きく減少していますが、引き続き警察や防犯協会等が実施する地域見守り活動の強化や、通学路の安全対策推進等の施策の充実により、犯罪の抑止に努めていく必要があります。



● 事案別内訳

令和5年の264件のうち、113件が子ども条例違反(※1)であり、高い比率を占めています。

※1 宮城県「子どもを犯罪の被害から守る条例」違反(子どもに対して正当な理由なく、甘言等で誘い出す、義務のない行為の要求、言いがかりをつける、衣服等をつかんで道路に立ちふさがる等の行為)に該当するもの。

